

資料－5（1） 平成26年度地下水揚水量の内訳

単位 上段：m³/日 中段（）：％ 下段〔〕：m³/日

用途 地域		工業	建築物	農業	水産	水道	計
		規 制 区 域	尾張	68,070 (23.4) [198,351]	30,898 (10.6) [96,046]	12,351 (4.3) [54,689]	6,573 (2.3) [38,990]
規 制 区 域 外	尾張知多	46,954 (55.7)	24,166 (28.7)	2,423 (2.9)	3,032 (3.6)	7,705 (9.1)	84,280 (100.0)
	西三河	82,024 (41.2)	22,250 (11.2)	3,790 (1.9)	14,834 (7.4)	76,370 (38.3)	199,268 (100.0)
		矢作古川流域	14,103 (36.1)	6,280 (16.1)	1,329 (3.4)	8,175 (20.9)	9,156 (23.5)
	東三河	40,141 (16.0)	21,586 (8.6)	20,522 (8.1)	131,184 (52.2)	37,989 (15.1)	251,422 (100.0)
計		237,189 (28.7)	98,900 (12.0)	39,086 (4.7)	155,623 (18.9)	294,867 (35.7)	825,665 (100.0)

注1) 尾張地域は、工業用水法・県民の生活環境の保全等に関する条例の規制区域(19市町村)

注2) 尾張知多地域は、規制区域外の尾張地域(5市1町)と知多地域(5市5町)

注3) 矢作古川流域(旧幡豆町を除く西尾市)の揚水量は、西三河地域の内数。

注4) ()は、用途別の割合を示す。

注5) 尾張地域の〔 〕は、用途別の許可量を示す。

資料－５（２） 工業用水法及び県民の生活環境の保全等に関する条例に係る
事業所数及び井戸（揚水設備）数

平成 27 年 3 月 31 日現在

		事業所数 (カ所)	井戸（揚水設備） 数（本）	備 考
工業用水法		189 (196)	244 (254)	
県 条 例	規制区域内	2,144 (2,167)	3,493 (3,524)	吐出口断面積が6cm ² 超
	規制区域外	1,683 (1,689)	3,183 (3,200)	吐出口断面積の合計が19cm ² 超 (水量測定器が必要な揚水設備)
	計	3,827 (3,856)	6,676 (6,724)	
合計		4,016 (4,052)	6,920 (6,978)	

注) () 内は、平成 26 年 3 月 31 日時点の数値である。

資料－6 平成26年降水量の状況

平成26年の主要な気象観測所における月ごとの降水量及び年間降水量を資料表6-1に示す。尾張地域では平年値とほぼ同程度の降水量であったが、西三河地域では平年値を下回る結果となった。東三河地域では、平成25年の降水量と比較して上回る結果となった。また全域的に6月、7月に降水量が少ない傾向が見られた。

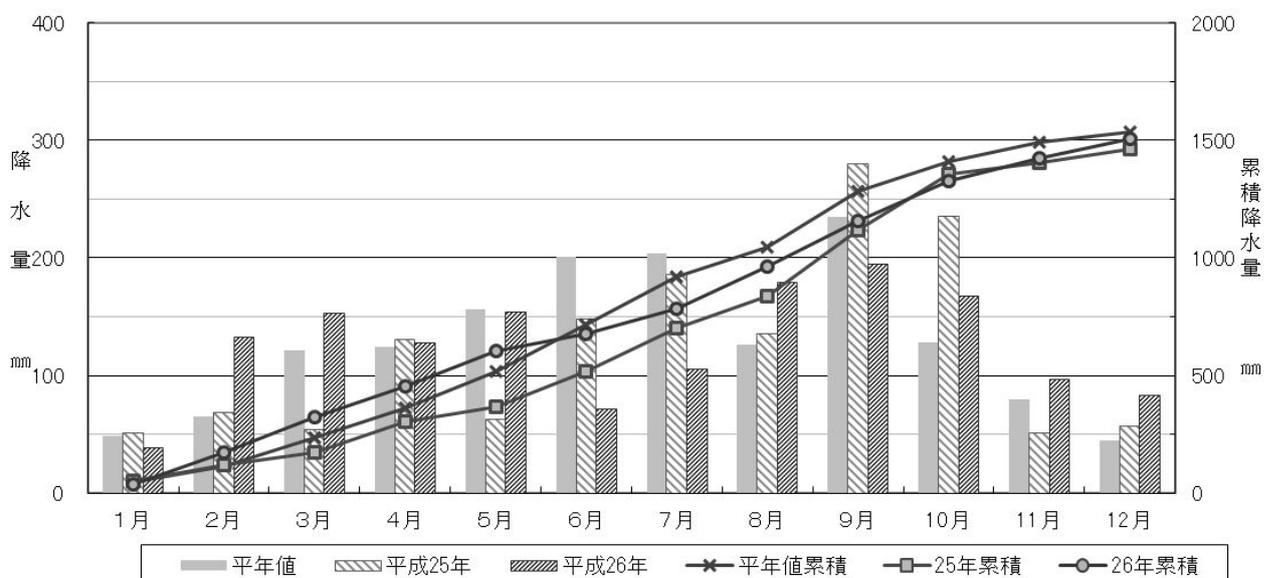
資料表6-1 気象観測所降水量

単位：mm

区分	名古屋地方気象台		一宮地域気象観測所		一色地域気象観測所		豊橋地域気象観測所	
	平年値	平成26年	平年値	平成26年	平年値	平成26年	平成25年	平成26年
1月	48.4	38.5	57.9	49.0	47.4	36.5	46.5	39.5
2月	65.6	132.5	74.7	113.5	56.0	129.0	56.0	133.5
3月	121.8	153.0	133.7	146.5	111.9	118.0	58.5	129.0
4月	124.8	128.0	145.5	98.5	117.0	126.0	180.0	125.0
5月	156.5	154.5	185.5	144.5	147.8	150.5	128.5	160.0
6月	201.0	72.0	227.0	101.0	181.4	42.5	137.0	43.5
7月	203.6	106.0	233.4	126.5	139.2	60.5	46.0	92.0
8月	126.3	179.0	145.7	330.5	118.0	150.0	82.5	177.0
9月	234.4	195.0	221.2	125.0	221.5	95.0	197.0	151.5
10月	128.3	167.5	126.6	150.0	143.1	187.5	323.5	343.0
11月	79.7	96.5	90.2	105.0	80.6	96.5	89.0	69.0
12月	45.0	83.0	51.4	80.5	43.8	55.0	47.0	51.0
年間	1535.3	1505.5	1686.4	1570.5	1409.9	1247.0	1391.5	1514.0

注1) 平年値とは、1981年～2010年の平均値

注2) 豊橋地域気象観測所は、平成17年11月を境に観測場所の移転、観測方法の変更、測器の変更など、いずれかの理由により観測データがこの前後で均質でない可能性があることから、平年値がないので平成25年値を掲載。



資料図6-1 名古屋地方気象台における月別降水量と累積降水量

資料－7 西三河及び知多地域の地盤沈下調査結果

1 西三河地域

平成26年は水準測量を実施していない。

西三河地域の平成25年の観測結果は、前回の調査が平成23年のため、2年間（平成23年9月1日～平成25年9月1日）の変動状況である。有効水準点50点の内、沈下点は13点でその割合は約26%となり、平成23年（約49%）と比較して減少した。また、1年間に換算して1cm以上沈下した水準点はなく、沈下域はなかった。

沈下点数の推移は資料表7-1、資料図7-1、年間地盤沈下域の面積と年間最大沈下量の推移（昭和50年～平成25年）は資料表7-2、主要な水準点の累積変動状況は資料図7-2のとおりである。西三河地域では、平成9年以降1cm以上の沈下点は観測されておらず、沈下域は昭和60年以降、平成2年を除いて生じていない。

年間沈下量の大きい水準点は、資料表7-3のとおり西尾市吉良町白浜新田北切に設置されている水準点「A200」及び岡崎市八帖町往還通に設置されている水準点「166-1」であり、沈下量は0.22cmであった。

また、最近6年間の累積沈下量の大きい水準点を資料表7-4に示す。最大沈下地点は西尾市吉良町吉田万田の水準点「A358」で、1.46cm沈下している。

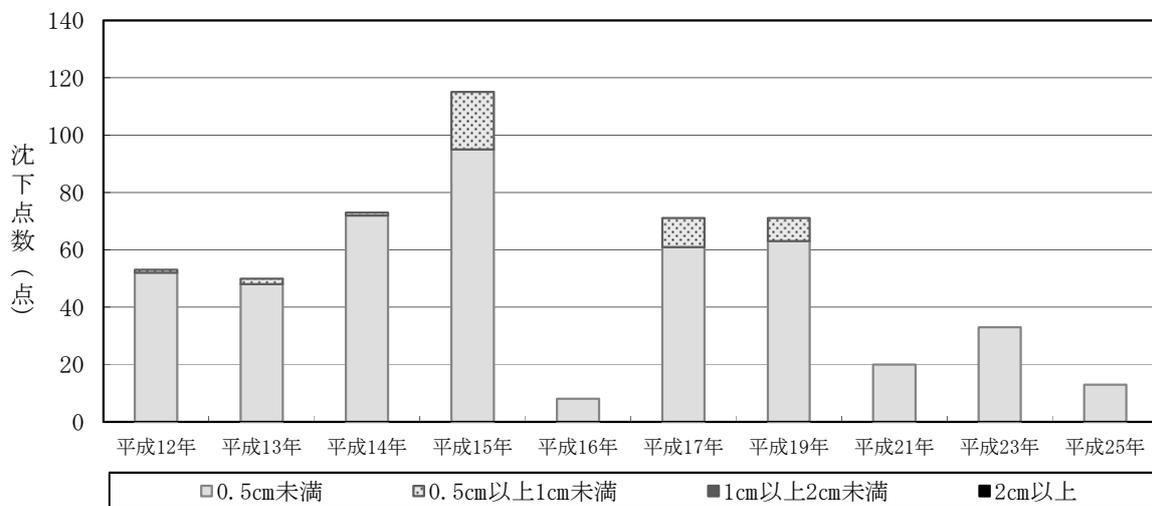
調査開始から平成25年までの累積沈下量が大きい水準点は、資料表7-5、資料図7-2のとおり、西尾市吉良町白浜新田北切に設置されている水準点「A200」であり、累積沈下量は44cmとなっている。

なお、西三河地域における累積沈下量のコンター図を資料図7-3に示している。

資料表 7-1 沈下を示した水準点の数 (西三河地域)

単位：点

水準点		観測年									
		平成12年	平成13年	平成14年	平成15年	平成16年	平成17年	平成19年	平成21年	平成23年	平成25年
有効水準点		169	176	176	141	101	87	87	81	68	50
沈下点数	0.5cm未満	52	48	72	95	8	61	63	20	33	13
	0.5cm以上 1cm未満	1	2	1	20	0	10	8	0	0	0
	1cm以上 2cm未満	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	2cm以上	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	合計	53	50	73	115	8	71	71	20	33	13



資料図 7-1 沈下を示した水準点の数 (西三河地域)

資料表 7-2 年間地盤沈下域の面積と年間最大沈下量の推移

(昭和 50 年～平成 25 年：西三河地域)

単位：km²

観測年 沈下量	昭和 50年	昭和 51年	昭和 52年	昭和 53年	昭和 54年	昭和 55年	昭和 56年	昭和 57年	昭和 58年	昭和 59年	昭和 60年	昭和 61年	昭和 62年	昭和 63年	平成 元年	平成 2年	平成 3年	平成 4年	平成 5年	平成 6年
1 cm 以上	0	約 3	約 4	—	約 8	約 20	約 64	約 9	約 16	約 16	約 0	約 0	約 0	約 0	約 0	約 4	約 0	約 0	約 0	約 0
2 cm 以上		0	約 0	—	約 0	約 0	約 10	約 0	約 0	約 0						約 0				
3 cm 以上						約 0	約 0													
4 cm 以上				—																
最大 cm	0.7	1.6	2.3	—	1.2	3.1	3.5	2.7	2.7	2.4	1.1	1.5	1.7	1.35	1.69	2.20	1.11	0.67	1.41	0.92

観測年 沈下量	平成 7年	平成 8年	平成 9年	平成 10年	平成 11年	平成 12年	平成 13年	平成 14年	平成 15年	平成 16年	平成 17年	平成 18年	平成 19年	平成 20年	平成 21年	平成 22年	平成 23年	平成 24年	平成 25年
1 cm 以上	約 0	約 0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	—	0	—	0	—	0	—	0
2 cm 以上												—		—		—		—	
3 cm 以上												—		—		—		—	
4 cm 以上												—		—		—		—	
最大 cm	1.01	1.27	0.93	0.75	0.36	0.55	0.64	0.52	0.95	0.39	0.91	—	0.83	—	0.37	—	0.26	—	0.22

注 1) 沈下域の面積で「約0」とは、沈下した水準点は存在するものの、沈下域の形成には至らなかったことを示している。

また、「0」とは、沈下した水準点も存在しないことを示している。

注 2) 昭和53年、平成18年、平成20年、平成22年、平成24年は測量を実施していない。昭和54年、平成19年、平成21年、平成23年、平成25年の最大cmは、1年間に換算した変動量を示す。

資料表 7-3 年間沈下量ワースト5 (西三河地域)

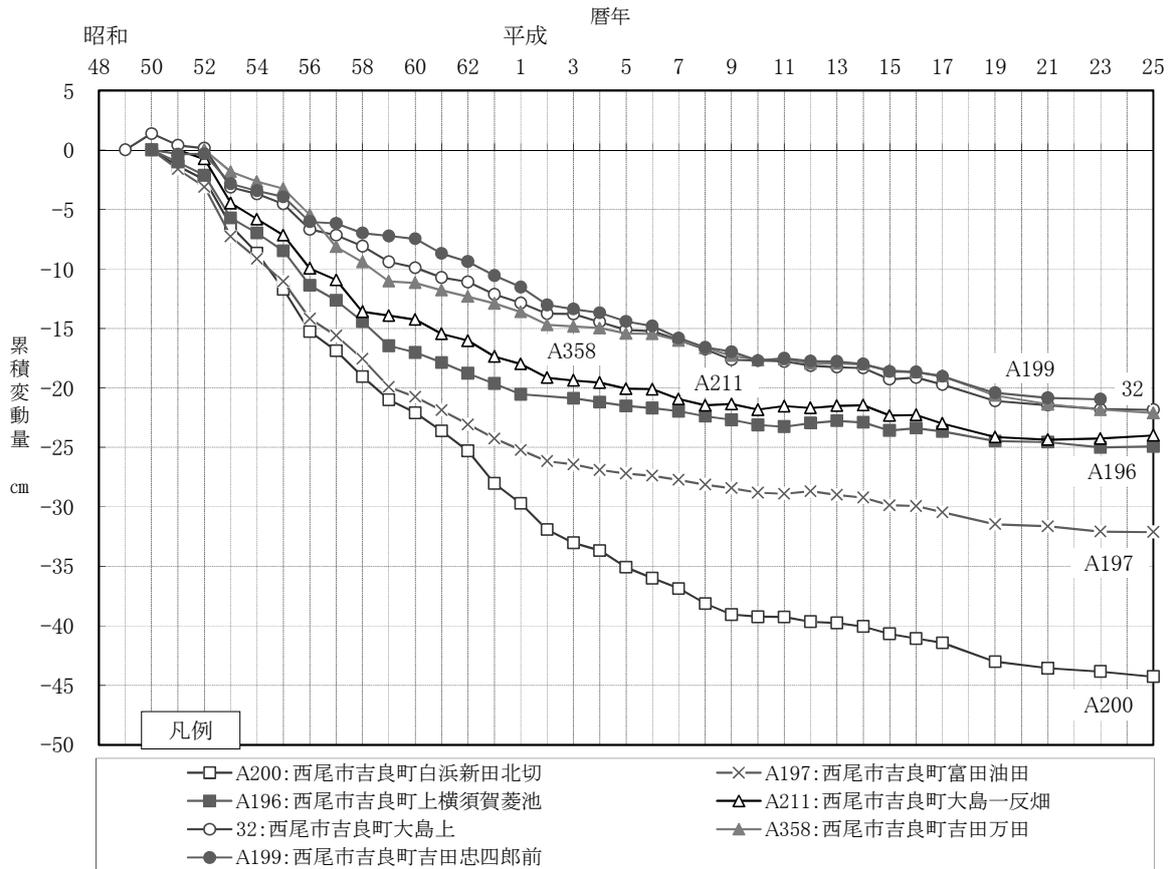
	水準点番号	所在地	沈下量(cm)
1	A200	西尾市吉良町白浜新田北切	0.22
1	166-1	岡崎市八帖町往還通	0.22
3	A-4	岡崎市福桶町字宮越	0.20
4	A394	岡崎市上青野町字新井	0.15
5	A358	西尾市吉良町吉田万田	0.14

資料表 7-4 最近6年間の累積沈下量ワースト5 (平成19年9月~平成25年9月:西三河地域)

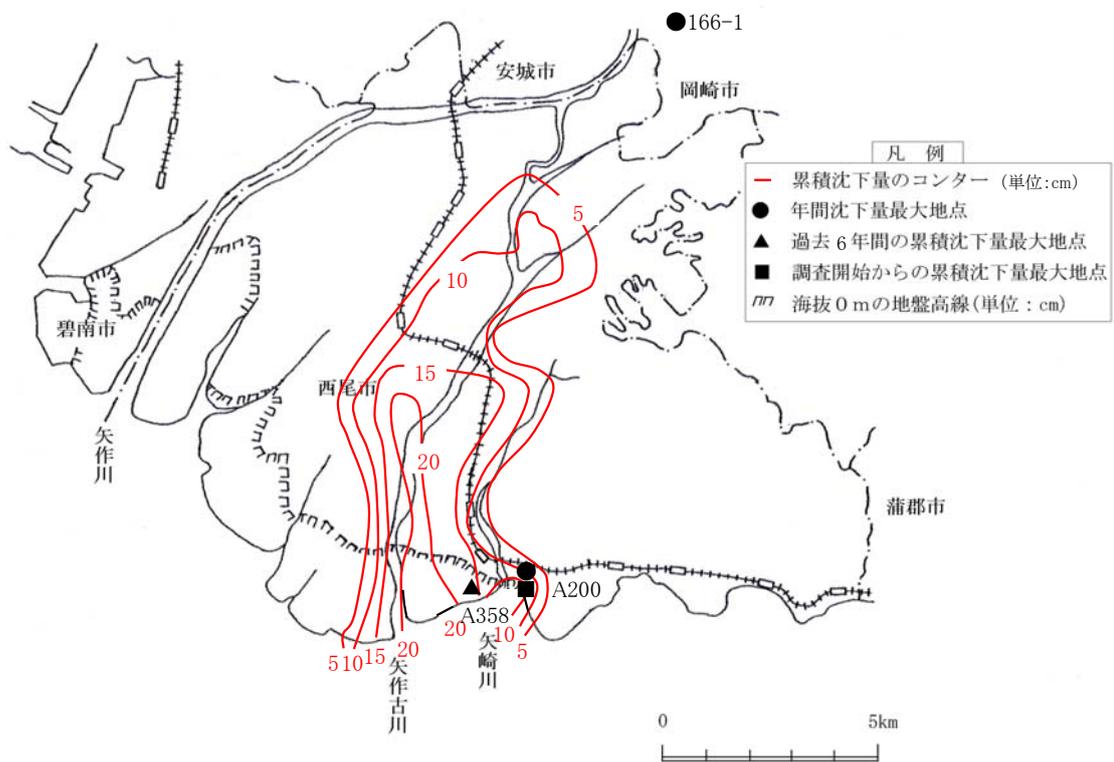
	水準点番号	所在地	沈下量(cm)
1	A358	西尾市吉良町吉田万田	1.46
2	A200	西尾市吉良町白浜新田北切	1.26
3	166-1	岡崎市八帖町往還通	1.22
4	A-4	岡崎市福桶町字宮越	1.00
5	A394	岡崎市上青野町字新井	0.81

資料表 7-5 累積沈下量ワースト5 (調査開始年~平成25年9月:西三河地域)

	水準点番号	所在地	沈下量 (cm)	標高T.P.(m)	調査 開始年
1	A200	西尾市吉良町白浜新田北切	44	+ 1.0271	昭和50年
2	A197	西尾市吉良町富田油田	32	+ 1.2497	昭和50年
3	A196	西尾市吉良町上横須賀菱池	25	+ 2.2462	昭和50年
4	A211	西尾市吉良町大島一反畑	24	+ 0.0819	昭和51年
5	A358	西尾市吉良町吉田万田	22	+ 1.3691	昭和52年



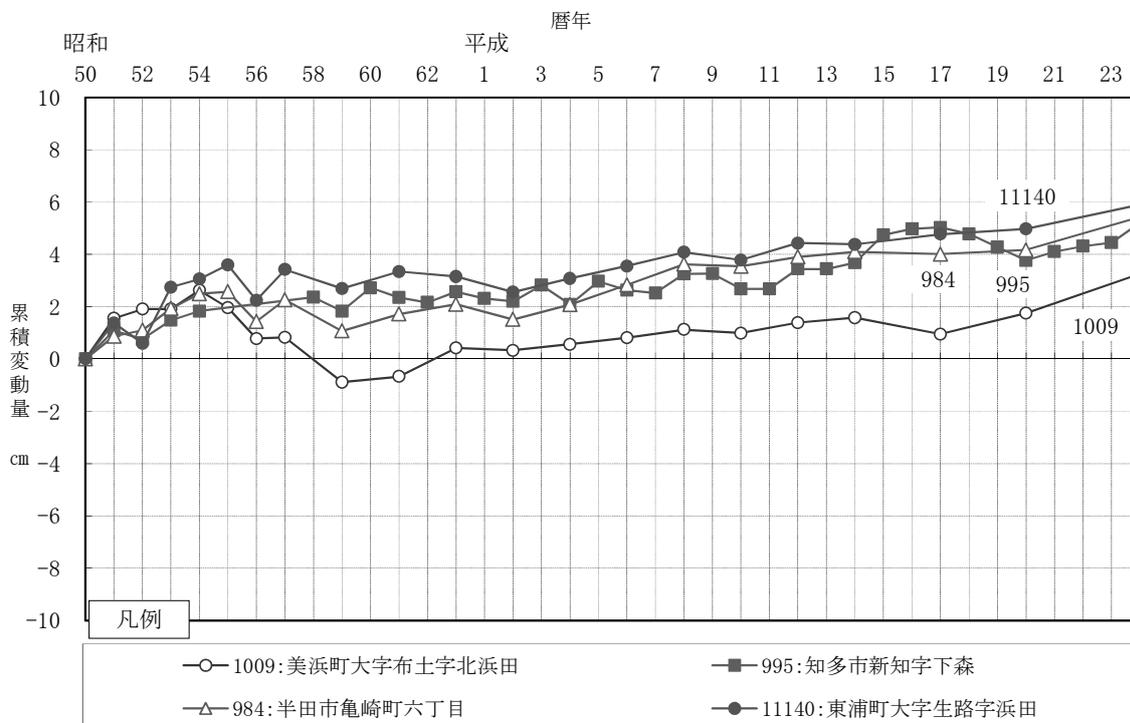
資料図 7-2 主要な水準点の累積変動状況（西三河地域）



資料図 7-3 累積沈下量のコンター図（昭和 50 年～平成 25 年：西三河地域）

2 知多地域

平成 26 年は水準測量を実施していない。最新の測量は平成 24 年であり、平成 24 年までの主要な水準点の累積変動状況は資料図 7-4 のとおりである。



資料図 7-4 主要な水準点の累積変動状況 (知多地域)